

木曾シンポ2022

おわりに

小林尚人

2018/10/07 Kouji Ohnishi

https://twitter.com/Nature_RAICHO

木曾シンポ



◆年1回春or夏or秋？ 観測所or別会場

- 現地とZoomの共生が安定化（世の中の進歩）：100名近くの参加
- ワーケーションサイト？（ぜひご活用ください）

初夏なら： 山野草 （食べたい人は春の山菜）

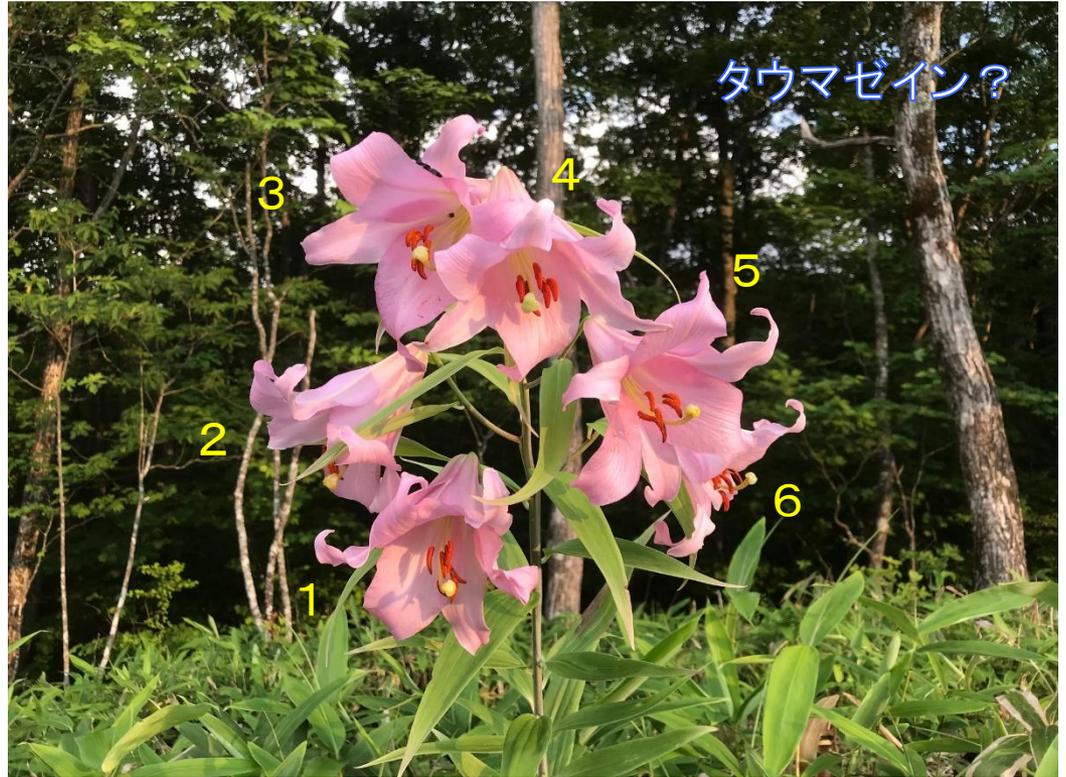
ササユリ *Lilium japonicum* 6-7月

県準絶滅危惧種 採取・盗掘、移動は厳禁

観測所では全株管理中

種から花まで10年

林と草原の境界(nicheを好む)



Tomo-eサイエンス



◆着実な論文化、拡がり

●超新星チームの頼もしい進展

“ショックブレイクアウト”に限らない多様性??

●GRBフォローアップ、太陽系小天体観測の着実な進展

●新しい天体群への拡がり：恒星フレア、白色矮星、コンパクト天体、。。

●機械学習：サイトや望遠鏡に依存しないフィロソフィア

酒向はじめTomo-eチームが最初に期待していた流れが着実に//

木曾観測所としては



◆観測天文

- Tomo-eなら尖ったhigh-cadenceサーベイ、美しいライトカーブを追求すべき
- High-risk (?) high-return、ニッチを狙ったNBサーベイも歓迎
- 気軽に使える安定した天文台を提供し続ける

◆実験的な開発・教育プログラムも常に歓迎

- “自由な (=unbounded, 人任せでない)” 提案は可能な範囲で基本受入
- 開放系であることは研究機関の当然の袴持
#評価は未来からついてくればよい

また1年後にお会いしましょう